

北海道競馬推進プランの概要

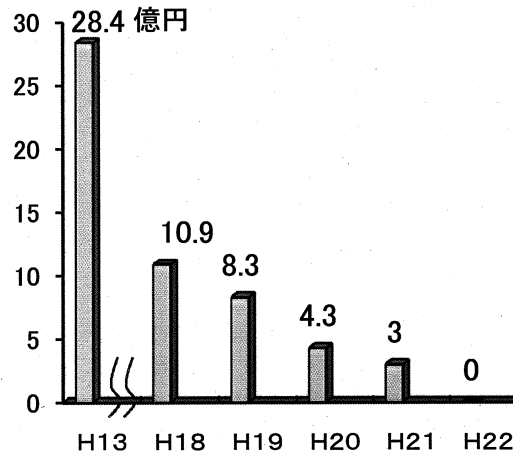
ホッカイドウ競馬の現状

- ホッカイドウ競馬の位置づけ
 - 産地を背景とした豊富な2歳馬資源
 - <地方競馬の2歳馬登録数:21年度>
 - 北海道 32.4% 南関東(4場) 33.6%
 - 東海北陸 9.3% 地方競馬計100%
 - 全国への競走馬供給基地
 - <道営2歳馬の転厩先:21年度>
 - 南関東(4場) 37.6% 近畿中四国 19.4%
 - 東海北陸 18.4% JRA 13.7%
 - 軽種馬経営のセーフティネット
 - ・生産者馬主の占める割合 53%
 - ・全国一の認定競走数
- 地域への大きな経済効果等
 - 600億円以上にのぼる日高管内の競走馬産業の市場規模
 - 道営競馬の大きな経済波及効果
 - ・直接雇用・・・1000人以上
 - ・経済波及効果・・・234億円
 - 認定厩舎制度の導入等による馬産地の活性化

北海道競馬改革ビジョンの取組

- 組織改革
 - ・北海道軽種馬振興公社への開催業務の委託による組織スリム化
- 競馬場の集約化
 - ・旭川競馬場を廃止、札幌開催を休止し、門別競馬場で全日程ナイター
- 親しまれる競馬場づくり
 - ・地方競馬全国協会やJRA、産地の支援による施設の整備
 - ・産地の支援による特産品販売など
- 魅力ある競馬(番組)づくり
 - ・産地やJRAからの支援による番組づくり
- 発売体制の充実
 - ・ミニ場外発売所の整備
- 経費の削減・合理化

・単年度赤字(一般会計借入)の推移



H22は見込

今後の安定運営に向けた課題

- 安定した収支構造の確立
 - 他地方競馬主催者との連携強化
 - JRAとの相互発売
 - ファンに対する情報等の充実
- 競走の充実
 - 魅力ある番組づくりのための馬資源の確保
 - 調教技術と併せた施設整備の検討
 - 競走距離のバリエーション

北海道競馬推進プラン

【基本的な考え方】

- 収支構造の安定を図る
- 産地競馬としての機能の更なる強化を図る
- 競馬場を活用した地域振興を進める
- 計画期間 平成23~27年度(5年間)

【今後の取組】

- 強い馬づくりの推進と魅力ある番組づくり
 - ・馬資源の確保と強い馬づくりの推進
 - ・競走距離のバリエーションの拡充
 - ・産地と一体となった馬主の確保と入厩の促進
- ホッカイドウ競馬のファンの拡大
- 他主催者との連携強化と発売拡大
 - ・全国共同馬券発売システムへの参加
 - ・場外発売所の再編整備
 - ・札幌開催再開の検討
 - ・他地方競馬主催者との連携強化
 - ・電話・インターネット発売のさらなる拡大
- 日本中央競馬会との相互連携の強化
- 産地等との連携による競馬場を活かした観光
- 高画質な映像の提供など情報発信の向上
- 経費の削減